

## 柴山 多佳児

運輸総合研究所客員研究員

ウィーン工科大学交通研究所上席研究員



### <略歴>

東京大学工学部社会基盤学科卒業(2007年)、同大学院社会基盤学専攻修了(2009年)、オーストリア政府奨学生(2009-2011)を経て、2011年よりウィーン工科大学交通研究所研究員、2021年より上席研究員(現職)。ウィーン工科大学博士(Dr. techn., 2021年)。2022年より運輸総合研究所客員研究員および芝浦工業大学客員准教授。慶応義塾大学招聘准教授(2023-24)。持続可能な都市交通計画の策定、公共交通の政策・計画やそれに関する課題、徒歩交通などに関する研究を歴任。主な著書に「International Perspectives on Public Transport Responses to COVID-19」(Elsevier, Günter Emberger氏との共編著、2024年)、「持続可能な交通まちづくり」(ちくま新書、宇都宮浄人氏との共著、2024年、第50回交通図書賞受賞)など